

尾崎病院 看護部便り

2022年11月発行

10月から夜勤開始

指導者といっしょに夜勤をしています。療養病棟では30人の患者さんをひとりで受け持ちます。朝日が昇り、患者さんの「よく眠れた」という言葉を聞くと、安心します。



呼吸を感じることはとても大切
急変を予測するスコアは色々であるが
呼吸数
は必ず項目にあがっている
モニターを装着していなくても「見て・聞いて・感じて」が行える
心停止患者の70%は8時間前に
呼吸器症状の増悪を呈している
Srinivas BM, et al. Critical advances in noninvasive cardiopulmonary assessment

夜勤を前に・・・鳥取県立中央病院 救急看護認定看護師 堀江亜紀さんに「フィジカルアセスメント～夜勤を前に～」をテーマにご講義いただきました。患者さんのちょっとした変化に気づく、観察の重要性をあらためて学びました。



当院では、脈拍は必ず橈骨動脈に触れて確認するよう伝えています。橈骨動脈が触れなければ・・・次は？もちろん、SpO2モニターに出てくるPRを脈拍として記録することは禁止です。患者さんに触れて確認すること！触れることで脈だけでなく、色々な情報を得ることができます。

戴帽式から3年・・・

先日看護学校の戴帽式に出席させていただきました。ナイチンゲール誓詞を聴き、初心に戻ることができました。



緊張している学生さんを見ていて、当院の新人たちも3年前に戴帽式に臨んでいたのだと思うと。。。感慨深かったです。2019年12月からの新型コロナウイルスとの戦いも、丸3年になろうとしています。新人たちは、コロナ対策で臨地実習が十分にできなかったりして、つらいことも多かったと思いますが、臨床に出て本当によく頑張っているなと思います。早く医療関係者もクリスマスを楽しんでいい世の中になるといいですね♡



看護部長



病院見学は随時受け付けております。
お問い合わせは、企画部企画課まで

